

令和2年度

図書館協議会資料

日時：令和2年11月26日(木) 午後2時～

会場：富山市立図書館本館3階 セミナールーム

富山市立図書館

I 決算・予算及び主な事業について

i 決算・予算の状況

1 令和元年度決算報告

(単位:千円)

事業名	予算現額 (A)	決算額 (B)	不用額 (A-B)	備考
①管理運営事務費	626,465	617,990	8,475	・本館、分館窓口業務委託 ・施設管理費等
②蔵書充実事業費	86,720	86,573	147	・図書購入費 ・新聞・雑誌・逐次刊行図書等
内、図書購入費	73,000	72,969	31	
③読書普及事業費	797	739	58	・障害者サービス事業費消耗品 ・録音図書DAISY機器借上料等
④図書館ネットワーク事業費	47,962	47,819	143	・図書データ購入費 ・システム借上料等
⑤音と映像資料充実事業費	580	451	129	・CD・DVD購入費等
⑥図書館施設整備事業費	361,902	315,428	46,474	・旧図書館本館の解体 令和2年1月工事完了
⑦知を深める市民交流推進事業費	6,199	5,404	795	・図書館交流行事等
合 計	1,130,625	1,074,404	56,221	

(参考)人口同規模近隣中核市の図書購入費の比較

都市名	人口 (千人)	図書購入費 (千円)	施設数 (館数)	市民1人当たりの 図書購入費(円)
富山市	418	73,000	25	174.64
岐阜市	412	67,527	7	163.90
柏市	416	50,530	18	121.47
豊田市	425	38,830	1	91.36
金沢市	454	98,293	6	216.50
全中核市平均	373	43,445	5	116.59

参考:『日本の図書館2019』(日本図書館協会)

2 令和2年度予算について

(単位:千円)

事業名	令和2年度 当初予算額 (A)	令和元年度 当初予算額 (B)	増減額 (A-B)	備考
①管理運営事務費	637,571	606,870	30,701	・本館、分館窓口業務委託 ・施設管理費等
②蔵書充実事業費	86,932	87,155	△ 223	・図書購入費 ・新聞・雑誌・逐次刊行図書等
内、図書購入費	73,000	73,000	0	
③読書普及事業費	597	797	△ 200	・障害者サービス事業費消耗品 ・録音図書DAISY機器借上料等
④図書館ネットワーク事業費	40,771	48,013	△ 7,242	・図書データ購入費 ・システム借上料等
⑤音と映像資料充実事業費	540	600	△ 60	・CD・DVD購入費等
⑥図書館施設整備事業費	7,345	361,851	△ 354,506	・奥田北分館移転費用
内、図書購入費	2,557	0	2,557	
⑦知を深める市民交流推進事業費	6,130	6,249	△ 119	・図書館交流行事等
合 計	779,886	1,111,535	△ 331,649	

ii 図書館交流行事

図書館本館では、新本館の開館時（平成 27 年 8 月）より、学習や暮らしに役立つ情報提供、市民の読書普及および図書館の利用促進を図るとともに、併せてまちなかの賑わい創出の目的で「図書館交流行事」開催しています。

1 図書館交流行事について

- (1) 運営主体 富山市立図書館交流行事運営委員会(構成:学識経験者、まちづくり関連団体等)
 (2) 開催場所 図書館本館及び周辺
 (3) 行事内容

令和元年度 開催回数：149 回、開催参加者数：13,893 人

令和 2 年度 開催回数：30 回、開催参加者数：9,194 人(R2 年 4 月～11 月 12 日)

①セミナー等（一例）

目的：市民の様々な活動（学び、暮らし、ビジネス、まちづくり等）に役立つ情報について、講師を通じてわかりやすく提供する。

テーマ	行事（例）	開催日	開催場所	参加人数
学び	セミナー「高齢社会の眼の病気」 (連携：声のライブラリー友の会・富山大学)	10 月 25 日	9F キラリホール	98
ビジネス	はじめての創業・起業セミナー「コロナに負けられるか創業だ！変化をチャンスととらえて」 (連携：県よろず支援拠点)	11 月 8 日	3F セミナールーム	30

②イベント等（一例）

目的：図書館の理解を深めたり、或いは文学、文化・芸術などの魅力に触れたりすることができる行事を開催し、図書館利用のきっかけとするとともに、来街者の増に貢献していくもの。

テーマ	行事（例）	開催日	開催場所	参加人数
図書館	本の羅針盤（一般・児童合同）	7 月 4 日～ 8 月 4 日	3F・4F フロア	1,000
	リアル謎解きゲーム×富山市立図書館（中学生～一般）	10 月 27 日～ 11 月 30 日	4F・5F フロア	444 (11 月 12 日現在)
文化・芸術	アブディンさん講演会「見えなければ見えてくる私の世界」 (連携：声のライブラリー友の会)	9 月 26 日	9F キラリホール	78

③児童行事（一例）

目的：幼児・児童の心豊かな成長を促すとともに、図書館を利用してもらうきっかけとする。

テーマ	行事（例）	開催日	開催場所	参加人数
図書館	親子で図書館探検	8月8日・9日	全階	78
ワークショップ	駒形克己さんワークショップ 「ひとつがふたつ」	11月7日	3F セミナールーム	32

④本の企画展示（一例）

目的：テーマ別に図書館の本の魅力をわかりやすく紹介し、利用増を図る。

項目	行事(例)	開催日	開催場所
一般	感染症を知る 新型コロナウイルス感染症対策に関連して、感染症の歴史や対策などに関する図書と、国や自治体発行のパンフレット等を展示。	5月18日～6月2日	4階一般図書フロア
	「声のライブラリー友の会」50年のあゆみ 音訳ボランティア「声のライブラリー友の会」創立50周年を記念し、活動や当館の録音図書サービスについてのパネルや再生機等を展示。	9月10日～10月6日	同上
	あなたの「推し探偵は？」 読書週間および「リアル謎解きゲーム×富山市立図書館」の開催にあわせ、ミステリ小説のなかで、特徴的な名探偵が活躍する図書を展示。併せて、会場に掲示板を設置し、利用者におすすめの探偵やミステリ小説などを紹介してもらい会場に掲示する。	10月27日～12月1日	同上
児童	森で遊ぼう 森をまもろう SDGsの取り組みの一環として、森をテーマとした絵本・物語、森林保護をテーマとした主題書を展示。	6月18日～7月14日	3F 児童図書フロア

2 主な行事

(1) TAKE OUT BOOKS—こんな本はいかが？—

ア 内容

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から利用者が本を選ぶ時間を短縮し、かつ自ら手に取らない本との出合いの機会を演出するため、図書館再開直後に図書館員が推薦する図書3冊を袋に入れて貸出した。司書が薦める図書を対象年齢（0歳から大人まで）やテーマごとに3冊ずつ袋に詰めて、全265袋を準備した。

イ 会期 令和2年5月18日（月）～5月31日（日）

ウ 参加人数 258人



(2) 図書館めぐりスタンプラリー

ア 内容

24 の窓口にスタンプを設置し、本を借りた子ども（高校生以下）に押印してもらうスタンプラリーを実施した。3館達成者にはオリジナルノート、全館達成者には TOYAMA キラリオオリジナルトートバッグ等をプレゼントした。

イ 会期 令和2年8月1日（土）～9月27日（火）

ウ 参加人数（3館達成者） 1,107人（うち全館達成者147人 のべ参加者数7,823人）



(3) 山田孝雄文庫セミナー

ア 内容

富山市立図書館交流行事運営委員会と国文学研究資料館の共催事業として開催した。

国文学研究資料館の職員など3人を講師として、山田孝雄氏の功績の紹介や、文庫の古典籍を使用した資料の魅力や価値を紹介した。また、前日の10月2日には国文学研究資料館館長のロバート キャンベル氏を講師とし、講演会「日本古典と感染症」を開催した。

イ 日時 令和2年10月3日（土）

ウ 参加人数 32人



Ⅱ 利用者からのご意見などについて

アンケート期間：令和2年7月14日（火）から28日（火） 15日間

対象：本館・地域館・分館等（自動車文庫を除く）

回答数：1,340件

i 利用者アンケート調査結果

<令和2年度実施>

(1) 図書館の利用頻度（単位：人）

			週2回以上	週1回～ 月2回程度	月1回程度	2ヶ月～半 年に1回程 度	ほとんど 利用しない	回答数
本館	図書館の 利用頻度	人数	65	154	82	45	81	427
		割合	15.2%	36.1%	19.2%	10.5%	19.0%	100%
地域館	図書館の 利用頻度	人数	33	294	110	37	18	492
		割合	6.7%	59.8%	22.4%	7.5%	3.7%	100%
分館等	図書館の 利用頻度	人数	68	232	76	20	9	405
		割合	16.8%	57.3%	18.8%	4.9%	2.2%	100%

図書館の利用頻度については、例年通り各館において「週1回～月2回程度」が最も多くの割合を占めました。ただし、週2回以上利用するという回答が減少し、新型コロナウイルス感染症の影響があると思われます。その分、「週1回～月2回程度」の回答が増加しているため、定期的に利用されていることがわかります。

(2) 図書館利用の目的（2つまで回答可とした）

		本館	地域館	分館
本を借りるため	件数	277	450	361
	割合	40.0%	65.1%	63.8%
館内で読書をするため	件数	68	42	35
	割合	9.8%	6.1%	6.2%
時間を過ごすため	件数	40	27	33
	割合	5.8%	3.9%	5.8%
情報・知識を得るため	件数	101	84	74
	割合	14.6%	12.2%	13.1%
自己啓発のため	件数	28	40	32
	割合	4.0%	5.8%	5.7%
仕事の準備のため	件数	18	9	11
	割合	2.6%	1.3%	1.9%
学習をするため	件数	146	32	15
	割合	21.1%	4.6%	2.7%
行事に参加するため	件数	1	0	1
	割合	0.1%	0.0%	0.2%
その他	件数	13	7	4
	割合	1.9%	1.0%	0.7%

昨年同様、全館の利用者の目的のうち、一番多いものは本を借りるために来館しているとの回答です。しかし、昨年に比べると「本を借りるため」の回答が増加し、「館内で読書するため」「時間を過ごすため」という回答が減少しました。これは新型コロナウイルス感染症の影響があるものと思われます。一方、本館と地域館では「仕事の準備」の数値はほぼ昨年と同じ、また本館では「学習をするため」という回答が増加しました。これは、目的によっては変わらず図書館を利用しているものだと考えられます。

(3) 図書館の満足度・・・「Ⅲ図書館の運営評価－5.利用者満足度」に掲載

(4) 自由記述

①本館について（計130件の意見・要望）

<主な意見・要望>

- ・蔵書について（外国語資料などの特定の分野の本を増やしてほしい等）（27件）
- ・開館時間について（閉館時間を遅くしてほしい等）（11件）
- ・本館駐車場、駐輪場の要望（8件）
- ・持ち込み学習について（学習席を増やしてほしい等）（5件）
- ・スタッフの対応について（5件）
- ・システム（検索機）への要望（4件）
- ・お褒め・励ましの言葉（30件）

②地域館・分館等について（計197件の意見・要望）

<主な意見・要望>

- ・蔵書について（新しい本が少ない、特定分野の本を増やしてほしい等）（64件）
- ・開館時間について（開館時間を延ばしてほしい等）（8件）
- ・システムについて（HPでの予約について、貸出履歴について）（5件）
- ・本の予約・取寄せについて（予約件数について、時間がかかる等）（4件）
- ・学習席を増やしてほしい（3件）
- ・お褒め・励ましの言葉（71件）

☆いただきましたご意見やご要望については、検討を行い、直ちに修正できることは修正していくとともに、今後の図書館運営に活かしてまいります。

ii 利用者からの主なご意見とその対応

		ご意見	対応
(1)	本館	借りた本に汚れがあり、別のページにも虫が挟まっていた。利用者のマナーについて掲示したらどうか。	「マナーアップキャンペーン～本が泣いている2020～」と題し、10月27日(火)から11月11日(水)まで、汚損や破損により提供できなくなった本を展示するとともに、マナーアップに関する川柳を募集し掲示した。また、図書館利用のマナー啓発のしおりを2種作成し、全館で配布した。
(2)	本館	新聞閲覧コーナーを利用する年配者の多くが、マスクをしていない。咳やくしゃみをしている人もいるので、飛沫感染が気になる。咳エチケットのポスターを掲示するなどして、注意喚起してほしい。	TOYAMAキラリ入口や各階の掲示板に、感染症対策ポスターを掲示していたが、新聞閲覧コーナーのテーブル上と壁面に新たに掲示した。
(3)	本館	新型コロナウイルス感染症が流行っているので、開館時間中も外の返却用ブックポストを開放して、館内に入らなくても本が返せるようにしてほしい。	返却用ブックポストは太田口通りに面しているが、ポストの利用に路上駐車する恐れがあり、そのことによる渋滞や事故を招きかねないことから、開館時の開放はしていないことを説明し、ご理解いただいた。
(4)	本館	大活字本を拡充してほしい。	今年度の予算を30万円(約100冊)としていたが、30万円増額し、本館だけでなく地域館・分館へも新しい大活字図書を配置する予定。
(5)	大沢野	新型コロナウイルス感染症の対策として、十分に安心して使用できる環境にしてほしい。机、本棚、本などが消毒されているか気になる。	全館にアルコール消毒液を設置し、利用者には手指の消毒、マスクの着用に協力いただいている。また、閲覧机やタッチパネルの定期的な消毒を行っている。本については、1冊ずつの消毒は困難であることから、読書の前後の手洗いなど自衛をお願いしている。
(6)	細入	玄関に子ども用のスリッパを置いてほしい。	子ども用サイズのスリッパを設置した。
(7)	駅南	学生がスマートフォンの充電にコンセントを占領しており、持ち込みPCを使って勉強する際に不便な時があるため、注意してほしい。	携帯電話の充電をしないよう館内掲示した。あわせて、館内巡回時に発見した場合は、利用者にご注意を促す。
(8)	—	ホームページの休館日情報が分かりづらい。	ホームページ上のカレンダーで各館の休館日を広報しているが、新たに「図書館からのお知らせ」内に休館日情報を掲載するようになった。
(9)	—	スマートフォンから資料を検索した時に検索結果の書名がオレンジ色の文字で表示され見えづらい。	文字の色を黒に変更した。

iii 市議会での質問状況

【令和2年6月議会】

◎質問者 松井 桂将議員

質問内容	図書館の充実に向けた今後の取組について問う。
答 弁 者	牧田教育委員会事務局長
答弁内容	<p>富山市立図書館は、本館・地域館の7館及び、こども図書館を含む18の分館を合わせて中核市最多となる25館（中核市平均5館）を有しており、これらの施設から半径2km以内には、市民の約80.3%が居住しております。さらに、これらの施設から離れた地域には、自動車文庫等が巡回を行うことで、市内全域にわたりきめ細かなサービスを展開しているところであります。</p> <p>また、毎年約40,000冊の多種多様な分野の図書を継続的に購入して蔵書の充実を図っているほか、館ごとの利用者のニーズに応じて適切な蔵書の配置に努め、図書館全体で魅力ある蔵書構成となるよう取り組んでいるところであります。</p> <p>さらに、以前より蔵書の情報をオンライン化し、インターネット予約を可能としているほか、外出が困難な障害者の方への市負担による郵送貸出や、今ほど申しました自動車文庫により、各地域や高齢者福祉施設・病院・小学校等144カ所へ巡回して貸出を実施しており、来館することなく受けられるサービスの充実にも努めております。</p> <p>なお、緊急事態宣言解除後の5月18日から貸出し業務を再開しましたが、図書館での滞在時間の短縮や新たな本との出会いの機会創出を目的に、あらかじめ司書が選んだ図書3冊を1つの袋につめた「TAKE OUT BOOKS」（福袋を模したもの）を5月に実施したところであります。</p> <p>このように、これまでも図書館の充実に向けてきたところでありますが、毎年実施している利用者へのアンケート調査などにより、市民のニーズの把握に努めながら、今後とも、より魅力ある図書館となるよう努めてまいりたいと考えております。</p>

Ⅲ 図書館の運営評価について

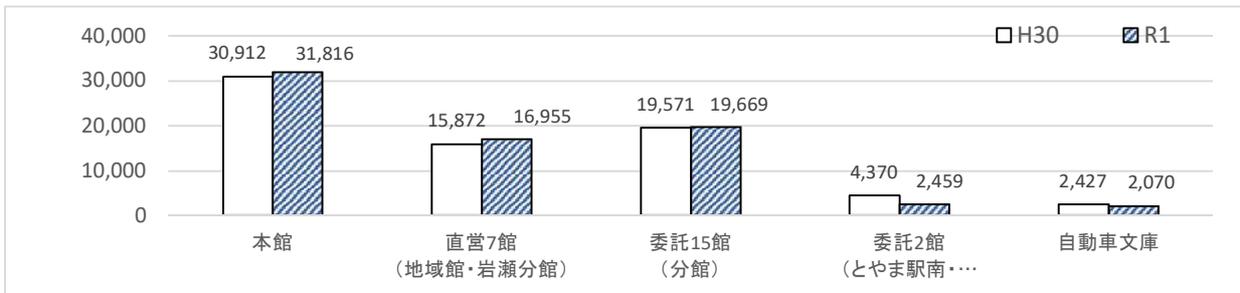
図書館法第7条の3の規定に基づき、富山市立図書館の各種統計数値(利用者満足度はアンケート調査(R2.7月実施))等を用いて、図書館の運営の状況について評価を行い、改善点など、今後の方向性について検討を行った。

1. 活動実施状況について

《評価について》	評価A: 前年度より増加した、または充実を図った。 評価B: 前年度と同程度、または、例年と同程度である 評価C: 前年度未滿、または、改善を要するレベルである
----------	--

(1) 資料購入費 (単位:千円)

	本館	直営7館 (地域館・岩瀬分館)	委託15館 (分館)	委託2館 (とやま駅南・こども)	自動車文庫	総合(計)
H30	30,912	15,872	19,571	4,370	2,427	73,152
R1	31,816	16,955	19,669	2,459	2,070	72,969
対前年比	102.9%	106.8%	100.5%	56.3%	85.3%	99.7%
評価	B	A	B	C	C	B



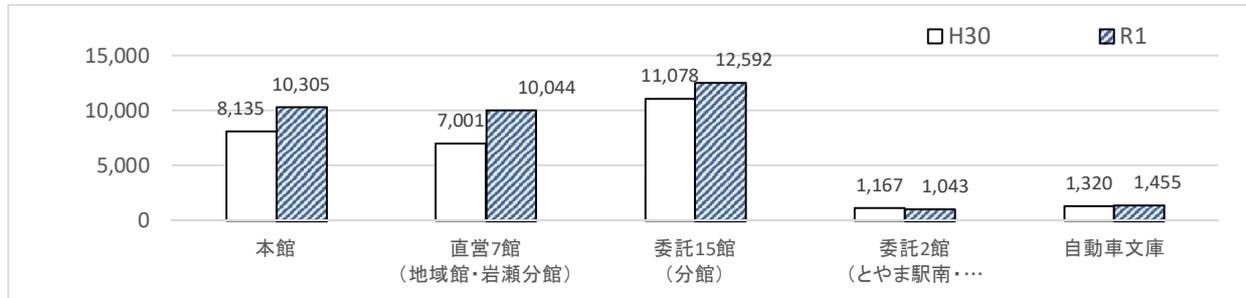
< 評価の説明 >	< 今後の方向性 >
<p>平成30年度は、本館5階に新設した路面電車コーナー用の図書費120千円を計上。昨年度は、その分の図書費が減となった。</p> <p>こども図書館は、蔵書冊数が2万冊を超えたことから、減額し地域館へ予算を配分した。</p> <p>(開架図書更新率(*1)=約6.7%)</p>	<p>今年度は移転開館した奥田北分館用の図書費として2,557千円を計上。開館にあわせて資料を購入したが、引き続き資料の更新を進める。</p> <p>今後も予算の確保に務めるとともに、地域館・分館資料の更新を積極的に行い、全体として魅力ある蔵書構成を図る。</p>

(*1)開架図書更新率…

年間受入冊数/開架冊数。書庫や特別文庫等を除いた、利用者が直接閲覧できるスペースにおける図書の更新率。「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」(文部科学省告示,2001年)に先立つ生涯学習審議会社会教育分科審議会計画部会図書館専門員会の報告では、開架に占める新規図書比として9.1%という目標数値が示されている。

(2) 除籍冊数 (単位:冊)

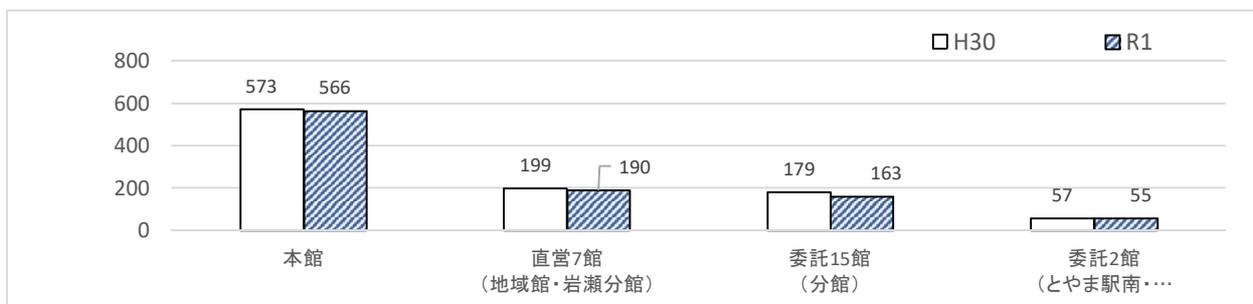
	本館	直営7館 (地域館・岩瀬分館)	委託15館 (分館)	委託2館 (とやま駅南・こども)	自動車文庫	総合(計)
H30	8,135	7,001	11,078	1,167	1,320	28,701
R1	10,305	10,044	12,592	1,043	1,455	35,439
対前年比	126.7%	143.5%	113.7%	89.4%	110.2%	123.5%
評価	A	A	A	C	A	A



<評価の説明>	<今後の方向性>
開架書架の魅力をもとめ、発行年が古く利用のなくなった図書の除籍を進めている。とやま駅南・こども図書館は、開館から7年目であり蔵書が比較的新しいことから数値が低くなった。	計画的に除架・除籍を進め、新鮮な資料が揃う魅力的な図書館空間を保つ。また、本館においては、収容能力を超えることのないよう適切な除籍を行い、収蔵スペースを確保する。

(3) 雑誌種数 (単位:タイトル)

	本館	直営7館 (地域館・岩瀬分館)	委託15館 (分館)	委託2館 (とやま駅南・こども)	総合(計)
H30	573	199	179	57	1,008
R1	566	190	163	55	974
対前年比	98.8%	95.5%	91.1%	96.5%	96.6%
評価	B	B	C	B	B



<評価の説明>	<今後の方向性>
雑誌の休刊が相次ぎ、合計34誌減少した。内訳は購入1誌、寄贈33誌であり、ほぼ寄贈雑誌休刊と雑誌スポンサーの撤退によるものである。全体の取り扱いタイトル数では6誌の減となった。	新型コロナウイルス感染症の影響により、雑誌の休刊や発行の不定期化が相次いでいるが、同テーマの雑誌を購入するなどして、取り扱いタイトル数を維持する。

※雑誌種数の数値は、各館で所蔵しているタイトル数を合計したもので重複資料がある。

(4) 録音図書所蔵冊数 (単位:冊)

	本館
H30	3,467
R1	3,632
対前年比	104.8%
評価	B

<評価の説明>	<今後の方向性>
ボランティア団体に録音図書を制作依頼しており、80作品以上を追加することができた。	視覚障害者に役立つ情報提供のため、今後も、ボランティア団体の協力を得て、録音図書の制作を行う。 また、収蔵スペースに限りがあることから、利用の見込みがない古いカセットテープ作品の除籍を検討する。これにより未所蔵となるタイトルについては、相互貸借を活用し提供する。

(5) 講座等開催回数(一般) (単位:回)

	本館
H30	47
R1	45
対前年比	95.7%
評価	B

<評価の説明>	<今後の方向性>
講座は、昨年度とほぼ同回数実施した。 NPO法人や市民病院、富山県広域消防防災センター、法テラス富山、放送大学等、多くの機関と連携して講座を実施した。	新型コロナウイルス感染症対策をしつつ、今後も本市の情報の拠点として、暮らしや学び、ビジネスなど市民の活動に役立つ情報を提供する講座を開催する。そのために、他の機関との連携を強め、幅広いジャンルの講座の開催に努める。

(6) その他行事等開催回数(一般)(単位:回)

	本館
H30	16
R1	18
対前年比	112.5%
評価	A

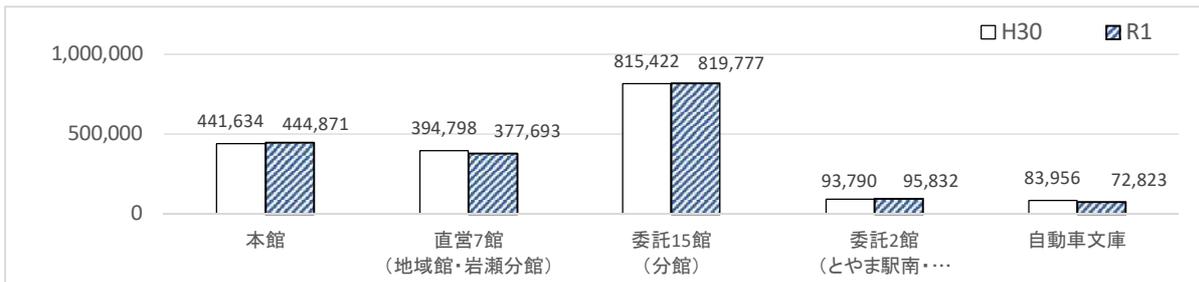
<評価の説明>	<今後の方向性>
朗読会や、トークショー、絵本原画展、御朱印帖を製作するワークショップなど、本に関連した行事のほか、コンサートも開催し、気軽に図書館を利用できる環境づくりに取り組んだ。	新型コロナウイルス感染症対策をしつつ、今後も講座等と合わせ、幅広い世代を対象とした行事を実施し、図書館への理解促進と来館のきっかけづくりに努め、利用者の増加やまちなかの回遊性の創出につなげたい。

2. 活動実施による成果について

《評価について》	評価A: 前年度より増加した、または、充実を図った。 評価B: 前年度と同程度、または、例年と同程度である 評価C: 前年度未滿、または、改善を要するレベルである
----------	---

(1) 貸出冊数 (単位:冊)

	本館	直営7館 (地域館・岩瀬分館)	委託15館 (分館)	委託2館 (とやま駅南・こども)	自動車文庫	総合(計)
H30	441,634	394,798	815,422	93,790	83,956	1,829,600
R1	444,871	377,693	819,777	95,832	72,823	1,810,996
対前年比	100.7%	95.7%	100.5%	102.2%	86.7%	99.0%
評価	B	B	B	B	C	B



＜評価の説明＞	＜今後の方向性＞
<p>本館、地域館、分館については、ほぼ昨年と同程度の貸出数である 昨年減少が見られたことも図書館では、貸出数の増加が見られた。 自動車文庫は新型コロナウイルス感染症による小学校など巡回停止の影響を受け、貸出冊数の減少がみられた。</p>	<p>限られた予算を有効に活用し、多様なニーズに応えられる資料を提供できるよう選書を行う。また、魅力ある展示や本のレイアウトを工夫するなど、書架の新鮮さを感じられるようにすることで、新たな発見がある環境をつくり、貸出増につなげる。</p>

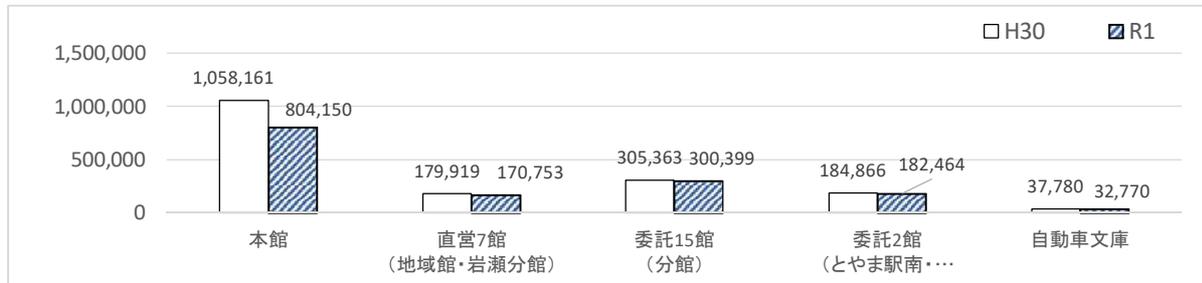
(2) 有効登録率 (単位:%) (過去5年に利用のあった実人数/市人口)

	全館(計)
H30	24.5
R1	23.9
対前年比	97.6%
評価	B

＜評価の説明＞	＜今後の方向性＞
<p>ほぼ昨年と同様の結果である。</p>	<p>全体に新規登録者数の減少がみられることから、これまで図書館を利用していない層にむけてPRする必要がある。行事等をアピールすることで、登録者の増加につなげたい。</p>

(3)入館者数(単位:人)

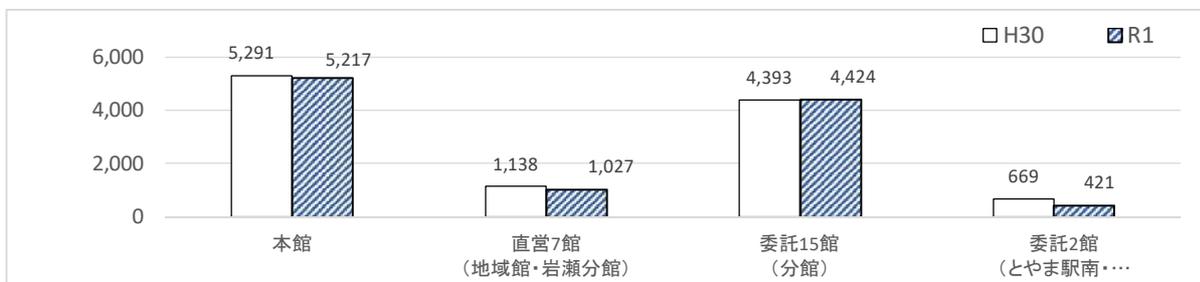
	本館	直営7館 (地域館・岩瀬分館)	委託15館 (分館)	委託2館 (とやま駅南・こども)	自動車文庫	総合(計)
H30	1,058,161	179,919	305,363	184,866	37,780	1,766,089
R1	804,150	170,753	300,399	182,464	32,770	1,490,536
対前年比	76.0%	94.9%	98.4%	98.7%	86.7%	84.4%
評価	C	B	B	B	C	C



<評価の説明>	<今後の方向性>
本館の入館者はキラリビル全体の入館者数のため、一昨年はガラス美術館での特別展が大きく影響し増加したものの、平成29年と比較すると令和元年の入館者数は増加している。自動車文庫の利用者は小学校などの巡回停止により減少。	セミナーなどのほか、ワークショップ、謎解き、図書館見学など体験型の図書館として来館のきっかけ作りを続けていきたい。地域館においても、積極的に行事をPRなどして、これまで来館の機会がなかった市民へのアピールを行いたい。

(4)レファレンス件数(単位:件)

	本館	直営7館 (地域館・岩瀬分館)	委託15館 (分館)	委託2館 (とやま駅南・こども)	総合(計)
H30	5,291	1,138	4,393	669	11,491
R1	5,217	1,027	4,424	421	11,089
対前年比	98.6%	90.2%	100.7%	62.9%	96.5%
評価	B	C	B	C	B



<評価の説明>	<今後の方向性>
本館、地域館、分館においては、ほぼ去年と同程度の件数である。昨年、大幅に増加したとやま駅南・こども図書館でのレファレンス件数は減少。	レファレンス事例の共有など、研修を行うことで経験を深めたい。また、地域館・分館にも課題解決のための参考図書や専門図書のほか、郷土資料などが充実するよう選書に努める。

(5) 視覚障害者郵送貸出件数（延べ件数）（単位：件）

	本館
H30	140
R1	120
対前年比	85.7%
評価	C

<評価の説明>	<今後の方向性>
貸出件数が減少した。新規登録者がなく利用者の固定化が見られる。	インターネットを利用した配信サービスでのダウンロード再生が主流になりつつあるが、録音図書（デージー）を望む声もあることから郵送サービスを継続していく。 また、図書館のホームページで障害者サービスの詳細な情報を掲載するなどしてPRを行い、認知度向上を図る。

(6) 講座等参加人数（一般）（単位：人）

	本館
H30	1,730
R1	1,675
対前年比	96.8%
評価	B

<評価の説明>	<今後の方向性>
講座の実施回数および参加人数は、昨年とほぼ同数であった。	【再掲】新型コロナウイルス感染症対策をしつつ、今後も本市の情報の拠点として、暮らしや学び、ビジネスなど市民の活動に役立つ情報を提供する講座を開催する。そのために、他の機関との連携を強め、市民の関心やニーズを考慮しつつ、幅広いジャンルの講座の開催に努める。

(7) その他行事等参加人数（一般）（単位：人）

	本館
H30	7,934
R1	9,028
対前年比	113.8%
評価	A

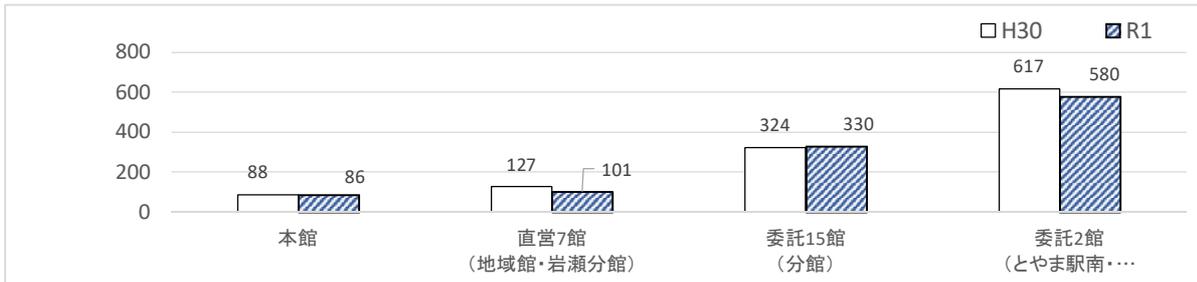
<評価の説明>	<今後の方向性>
原画展およびコンサートに多数の来場者があったため、参加者数が増加した。	新型コロナウイルス感染症対策をしつつ、市民の関心やニーズを考慮した企画を実施し、図書館への理解促進と来館のきっかけづくりに努めるとともに、積極的なPRを行う。

3. 活動実施状況(児童サービス)について

《評価について》 評価A:前年度より増加した、または充実を図った。
 評価B:前年度と同程度、または、例年と同程度である
 評価C:前年度未滿、または、改善を要するレベルである

(1)集会行事開催回数(単位:回)

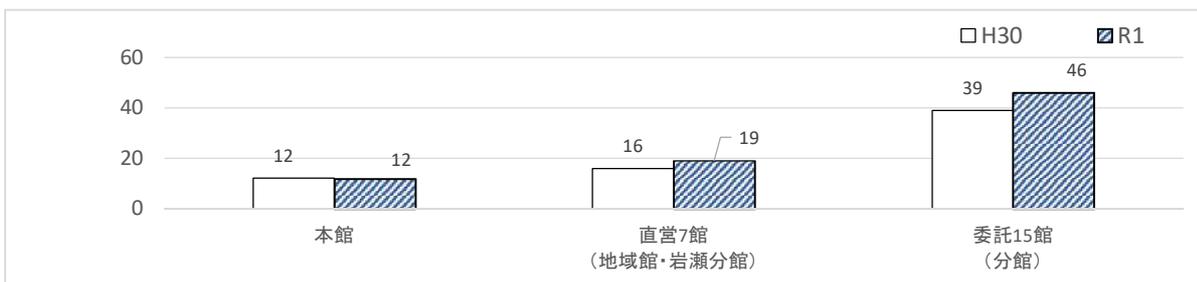
	本館	直営7館 (地域館・岩瀬分館)	委託15館 (分館)	委託2館 (とやま駅南・こども)	総合(計)
H30	88	127	324	617	1,156
R1	86	101	330	580	1,097
対前年比	97.7%	79.5%	101.9%	94.0%	94.9%
評価	B	C	B	C	B



＜評価の説明＞	＜今後の方向性＞
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、3月には児童を対象とした行事をすべて中止したため、前年を下回った館があった。	新型コロナウイルス感染症対策をしつつ、今後も、各地域で活動するボランティア団体と連携し、全館で絵本の読み聞かせや読書の楽しさを伝える子ども会を継続して実施する。特にこども図書館では未就学児とその保護者に特化した行事を行い、本館においては、乳幼児から中高生まで子どもの発達段階に応じた行事を実施していく。

(2)学級招待等開催数 (単位:学級)

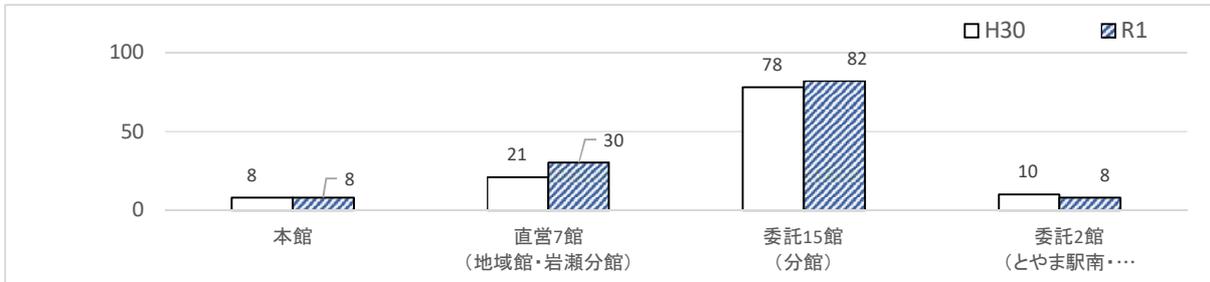
	本館	直営7館 (地域館・岩瀬分館)	委託15館 (分館)	総合(計)
H30	12	16	39	67
R1	12	19	46	77
対前年比	100.0%	118.8%	117.9%	114.9%
評価	B	A	A	A



＜評価の説明＞	＜今後の方向性＞
各館周辺の小学2年生を招待し、図書館利用方法を指導することにより、児童への読書普及に努めた。 地域館・分館で、新規に実施した学校があった。	学校側には社会見学活動の一環として協力を求め、今後も継続して学校(学級)招待を推進し、児童の読書普及と図書館利用の活性化を図る。

(3) 園招待開催回数 (単位:回)

	本館	直営7館 (地域館・岩瀬分館)	委託15館 (分館)	委託2館 (とやま駅南・こども)	総合(計)
H30	8	21	78	10	117
R1	8	30	82	8	128
対前年比	100.0%	142.9%	105.1%	80.0%	109.4%
評価	B	A	A	C	A



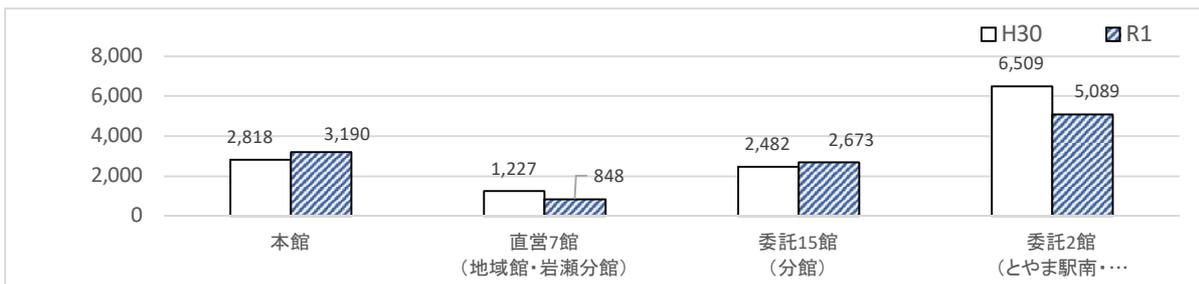
<評価の説明>	<今後の方向性>
<p>各館近辺の保育所・幼稚園児に読み聞かせや本の貸出を行い、本への親しみを持たせるように努めた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、3月には児童を対象とした行事をすべて中止したため、こども図書館では前年を下回った。</p> <p>一方、地域館で、新規に実施した園があった。</p>	<p>乳幼児等の心豊かな成長に資するよう、幼稚園・保育園の協力を得ながら、全館で園招待を推進していく。</p>

4. 活動実施による成果(児童サービス)について

《評価について》	評価A: 前年度より増加した、または充実を図った。 評価B: 前年度と同程度、または、例年と同程度である 評価C: 前年度未滿、または改善を要するレベルである
----------	---

(1) 集会行事参加人数(単位:人)

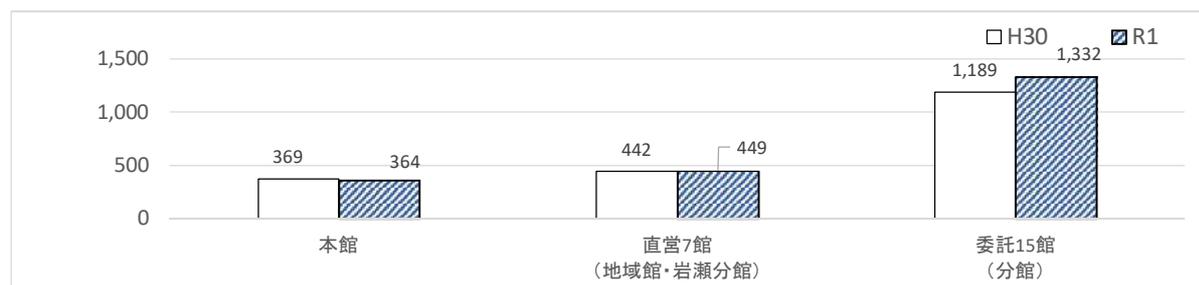
	本館	直営7館 (地域館・岩瀬分館)	委託15館 (分館)	委託2館 (とやま駅南・こども)	総合(計)
H30	2,818	1,227	2,482	6,509	13,036
R1	3,190	848	2,673	5,089	11,800
対前年比	113.2%	69.1%	107.7%	78.2%	90.5%
評価	A	C	A	C	C



＜評価の説明＞	＜今後の方向性＞
【再掲】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、3月には児童を対象とした行事をすべて中止したため、前年を下回った館があった。	【再掲】 新型コロナウイルス感染症対策をしつつ、今後も、各地域で活動するボランティア団体と連携し、全館で絵本の読み聞かせや読書の楽しさを伝える子ども会を継続して実施する。特にこども図書館では未就学児とその保護者に特化した行事を行い、本館においては、乳幼児から中高生まで子どもの発達段階に応じた行事を実施していく。

(2) 学級招待参加人数(単位:人)

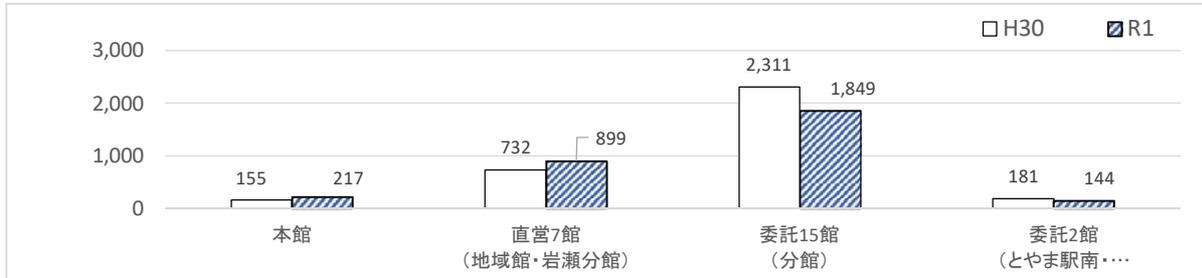
	本館	直営7館 (地域館・岩瀬分館)	委託15館 (分館)	総合(計)
H30	369	442	1,189	2,000
R1	364	449	1,332	2,145
対前年比	98.6%	101.6%	112.0%	107.3%
評価	B	B	A	A



＜評価の説明＞	＜今後の方向性＞
【再掲】 各館周辺の小学2年生を招待し、図書館利用方法を指導することにより、児童への読書普及に努めた。 地域館・分館で、新規に実施した学校があった。	【再掲】 学校側には社会見学活動の一環として協力を求め、今後も継続して学校(学級)招待を推進し、児童の読書普及と図書館利用の活性化を図る。

(3) 園招待参加人数 (単位:人)

	本館	直営7館 (地域館・岩瀬分館)	委託15館 (分館)	委託2館 (とやま駅南・こども)	総合(計)
H30	155	732	2,311	181	3,379
R1	217	899	1,849	144	3,109
対前年比	140.0%	122.8%	80.0%	79.6%	92.0%
評価	A	A	C	C	C



<評価の説明>	<今後の方向性>
<p>【再掲】各館近辺の保育所・幼稚園児に読み聞かせや本の貸出を行い、本への親しみを持たせるように努めた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、3月には児童を対象とした行事をすべて中止したため、こども図書館では前年を下回った。</p> <p>一方、地域館で、新規に実施した園があった。</p>	<p>【再掲】乳幼児等の心豊かな成長に資するよう、幼稚園・保育園の協力を得ながら、全館で園招待を推進していく。</p>

5. 利用者満足度について

令和2年度富山市立図書館利用者アンケート結果報告

- (1) 調査対象 : 本館、地域館、分館等25館の来館者（自動車文庫利用者は含まない）
- (2) 調査方法 : 図書館内で入館者に質問票を手渡し、記入してもらった。
- (3) 調査日時 : 令和2年7月14日（火）～7月28日（火）

【評価】 特A：大変良好である（平均満足度が1.2以上） A：良好である（0.6以上） B：どちらとも言えない（0.4以上） C：良好と言えない（0.4未満）

①資料面

平均満足度＝（「大変満足」回答者数×2点＋「満足」回答者数×1点＋「どちらでもない」回答者数×0点＋「不満」回答者数×-1点＋「大変不満」回答者数×-2点）/全回答者数

			大変満足 (2点)	満足 (1点)	どちらでも ない(0点)	不満 (-1点)	大変不満 (-2点)	計	平均 満足度	評価	R1 満足度	R1 評価	評価の説明	今後の方向性	
蔵書の品揃え	小説・エッセイ等の読み物	本館	件数(件)	92	156	103	20	1	372	0.85	A	0.81	A	全体的に昨年に比べ、蔵書への満足度があがっている。しかし、地域館での参考図書への満足度が下がっており、それがサービス面での調べ物相談に対する評価が下がったことにつながっているのではないかと。 昨年度評価が低かったビジネス関係の資料については、少し評価があがっている。選書時に意識的に幅広く選ぶことが評価されたものと思う。	今年度同様、計画的に選書し、本館、地域館、分館等の役割や利用者ニーズを踏まえて選書を行うことで、評価をあげていく。資料の満足度は、継続して積み上げるものなので、アンケート等でニーズを把握し、図書館全体のバランスを考えて選書を行う。 分館には新聞がないため評価が低いが、新聞のデータベースが全館で使用できることのPRに努めたい。
			割合	25%	42%	28%	5%	0%	100%						
		地域館	件数(件)	56	193	124	55	3	431	0.57	B	0.49	B		
		割合	13%	45%	29%	13%	1%	100%							
	分館等	件数(件)	59	155	121	35	1	371	0.64	A	0.63	A			
		割合	16%	42%	33%	9%	0%	100%							
	生活・趣味に関する本	本館	件数(件)	89	149	112	14	1	365	0.85	A	0.82	A		
			割合	24%	41%	31%	4%	0%	100%						
		地域館	件数(件)	53	168	150	40	0	411	0.57	B	0.51	B		
		割合	13%	41%	36%	10%	0%	100%							
	分館等	件数(件)	55	147	123	24	2	351	0.65	A	0.63	A			
		割合	16%	42%	35%	7%	1%	100%							
	ビジネス関係の本	本館	件数(件)	83	111	130	16	2	342	0.75	A	0.61	A		
			割合	24%	32%	38%	5%	1%	100%						
		地域館	件数(件)	29	98	202	27	1	357	0.36	C	0.29	C		
		割合	8%	27%	57%	8%	0%	100%							
	分館等	件数(件)	33	80	176	20	2	311	0.39	C	0.34	C			
		割合	11%	26%	57%	6%	1%	100%							
事典類などの調査参考図書	本館	件数(件)	89	108	138	12	0	347	0.79	A	0.66	A			
		割合	26%	31%	40%	3%	0%	100%							
	地域館	件数(件)	33	99	210	18	2	362	0.40	B	0.42	B			
	割合	9%	27%	58%	5%	1%	100%								
分館等	件数(件)	37	76	174	27	1	315	0.38	C	0.32	C				
	割合	12%	24%	55%	9%	0%	100%								
絵本・紙芝居などの児童図書	本館	件数(件)	96	97	140	4	3	340	0.82	A	0.73	A			
		割合	28%	29%	41%	1%	1%	100%							
	地域館	件数(件)	66	140	148	17	0	371	0.69	A	0.69	A			
	割合	18%	38%	40%	5%	0%	100%								
分館	件数(件)	51	104	137	10	0	302	0.65	A	0.60	A				
	割合	17%	34%	45%	3%	0%	100%								
蔵書の新しさ	本館	件数(件)	105	144	100	20	4	373	0.87	A	0.82	A			
		割合	28%	39%	27%	5%	1%	100%							
	地域館	件数(件)	42	145	134	85	8	414	0.31	C	0.21	C			
	割合	10%	35%	32%	21%	2%	100%								
分館等	件数(件)	43	126	117	57	3	346	0.43	B	0.40	B				
	割合	12%	36%	34%	16%	1%	100%								
雑誌の品揃え(種類・内容)	本館	件数(件)	130	127	101	6	1	365	1.04	A	1.00	A			
		割合	36%	35%	28%	2%	0%	100%							
	地域館	件数(件)	37	120	171	51	9	388	0.32	C	0.14	C			
	割合	10%	31%	44%	13%	2%	100%								
分館等	件数(件)	42	98	136	43	5	324	0.40	B	0.42	B				
	割合	13%	30%	42%	13%	2%	100%								
新聞の品揃え(種類・内容)	本館	件数(件)	121	104	125	4	1	355	0.96	A	0.93	A			
		割合	34%	29%	35%	1%	0%	100%							
	地域館	件数(件)	44	104	207	14	1	370	0.48	B	0.34	C			
	割合	12%	28%	56%	4%	0%	100%								
分館等	件数(件)	30	58	156	19	12	275	0.27	C	0.21	C				
	割合	11%	21%	57%	7%	4%	100%								
総合評価(資料関係)	本館	件数(件)	805	996	949	96	13	2,859	0.87	A	0.80	A			
		割合	28%	35%	33%	3%	0%	100%							
	地域館	件数(件)	360	1,067	1,346	307	24	3,104	0.46	B	0.38	C			
	割合	12%	34%	43%	10%	1%	100%								
分館等	件数(件)	350	844	1,140	235	26	2,595	0.48	B	0.46	B				
	割合	13%	33%	44%	9%	1%	100%								

②サービス面

評価 特A：大変良好である（平均満足度が1.2以上） A：良好である（0.6以上） 評価B：どちらとも言えない（0.4以上） 評価C：良好と言えない（0.4未満）
 平均満足度＝（「大変満足」回答者数×2点＋「満足」回答者数×1点＋「どちらでもない」回答者数×0点＋「不満」回答者数×-1点＋「大変不満」回答者数×-2点）/全回答者数

		大変満足 (2点)	満足 (1点)	どちらでも ない(0点)	不満 (-1点)	大変不満 (-2点)	計	平均 満足度	評価	R1 満足度	R1 評価	評価の説明	今後の方向性
開館時刻	本館	件数(件)	136	131	83	45	3	398	0.88	A	0.95	A	
		割合	34%	33%	21%	11%	1%	100%					
	地域館	件数(件)	172	170	82	22	2	448	1.09	A	0.87	A	
		割合	38%	38%	18%	5%	0%	100%					
	分館等	件数(件)	168	144	58	3	0	373	1.28	特A	1.15	A	
		割合	45%	39%	16%	1%	0%	100%					
閉館時刻	本館	件数(件)	123	128	85	47	9	392	0.79	A	0.82	A	
		割合	31%	33%	22%	12%	2%	100%					
	地域館	件数(件)	164	161	87	26	5	443	1.02	A	0.87	A	
		割合	37%	36%	20%	6%	1%	100%					
	分館等	件数(件)	151	144	59	15	2	371	1.15	A	1.07	A	
		割合	41%	39%	16%	4%	1%	100%					
館内の過ごしやすさ	本館	件数(件)	206	134	48	7	1	396	1.36	特A	1.32	特A	
		割合	52%	34%	12%	2%	0%	100%					
	地域館	件数(件)	200	181	61	3	0	445	1.30	特A	1.08	A	
		割合	45%	41%	14%	1%	0%	100%					
	分館等	件数(件)	173	154	36	4	0	367	1.35	特A	1.27	特A	
		割合	47%	42%	10%	1%	0%	100%					
自動貸出機の使いやすさ	本館	件数(件)	189	101	79	6	1	376	1.25	特A	1.23	特A	
予約受取室の使いやすさ	本館	件数(件)	115	92	142	5	1	355	0.89	A	0.94	A	
本の企画展示	本館	件数(件)	103	115	139	6	0	363	0.87	A	0.85	A	
		割合	28%	32%	38%	2%	0%	100%					
	地域館	件数(件)	106	191	115	6	0	418	0.95	A	0.87	A	
		割合	25%	46%	28%	1%	0%	100%					
	分館等	件数(件)	119	151	76	5	0	351	1.09	A	1.02	A	
		割合	34%	43%	22%	1%	0%	100%					
行事の内容	本館	件数(件)	89	97	162	5	0	353	0.76	A	0.79	A	
		割合	25%	27%	46%	1%	0%	100%					
	地域館	件数(件)	55	121	206	4	0	386	0.59	B	0.54	B	
		割合	14%	31%	53%	1%	0%	100%					
	分館等	件数(件)	77	99	151	2	0	329	0.76	A	0.76	A	
		割合	23%	30%	46%	1%	0%	100%					
調べもの相談 (レファレンスサービス)	本館	件数(件)	121	101	131	4	2	359	0.93	A	0.88	A	
		割合	34%	28%	36%	1%	1%	100%					
	地域館	件数(件)	82	121	186	2	0	391	0.72	A	0.81	A	
		割合	21%	31%	48%	1%	0%	100%					
	分館等	件数(件)	111	121	104	1	0	337	1.01	A	1.03	A	
		割合	33%	36%	31%	0%	0%	100%					
係員の対応	本館	件数(件)	185	119	68	10	3	385	1.23	特A	1.17	A	
		割合	48%	31%	18%	3%	1%	100%					
	地域館	件数(件)	192	177	68	1	0	438	1.28	特A	1.21	特A	
		割合	44%	40%	16%	0%	0%	100%					
	分館等	件数(件)	203	144	26	2	0	375	1.46	特A	1.48	特A	
		割合	54%	38%	7%	1%	0%	100%					
総合評価(サービス面)	本館	件数(件)	1,267	1,018	937	135	20	3,377	1.00	A	1.00	A	
		割合	38%	30%	28%	4%	1%	100%					
	地域館	件数(件)	971	1,122	805	64	7	2,969	1.01	A	0.90	A	
		割合	33%	38%	27%	2%	0%	100%					
	分館等	件数(件)	1,002	957	510	32	2	2,503	1.17	A	1.12	A	
		割合	40%	38%	20%	1%	0%	100%					

各項目とも、「大変満足」及び「満足」の回答が「不満」及び「大変不満」を大きく上回っている。

サービス面の満足度は、資料面の利用者満足度よりも高くなっている。ただし、昨年に比べると、本館の開館時刻、閉館時刻の満足度が下がっている。これは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、図書館の休館や開館時間の短縮が影響しているのではないかと考える。

地域館の調べ物相談の満足度が低いが、これは蔵書の品揃えの満足度調査で参考図書類の満足度が下がったことと関係しているのではないかと考える。

一昨年より地域館でも外部（大学など）と連携しての行事をはじめたことから、さらに地域住民の興味を引くイベントを企画し開催することが大切であると考え。今年度は講座だけでなく、参加型のワークショップなどを実施。

地域館は、住民の情報拠点として利用促進のため積極的に行事のPRなどを行うことが大切であると考え。

今後とも、利用者のご意見等を踏まえ、不備な点を点検し、図書館員の情報共有を図りながら、積極的にサービスの改善に努めていく。

③総合的満足度

評価 特A：大変良好である（平均満足度が1.2以上） A：良好である（0.6以上） 評価B：どちらとも言えない（0.4以上） 評価C：良好と言えない（0.4未満）

平均満足度＝（「大変満足」回答者数×2点＋「満足」回答者数×1点＋「どちらでもない」回答者数×0点＋「不満」回答者数×－1点＋「大変不満」回答者数×－2点）/全回答者数

		大変満足 (2点)	満足 (1点)	どちらでも ない(0点)	不満 (-1点)	大変不満 (-2点)	計	平均 満足度	評価	R1 平均満足度	R1 評価	評価の説明	今後の方向性
本館	件数(件)	161	208	35	5	1	410	1.28	特A	1.25	特A	各項目とも、「大変満足」及び「満足」の回答が「不満」及び「大変不満」を大きく上回り、概ね良い評価をいただいた。	市民の多岐にわたる需要に応えるため、総合的に魅力ある図書館づくりに努めるとともに、図書館の本や図書館の利用方法をPRする。 本の選定・配置、職員のスキル向上、貴重資料・郷土資料の整理など課題に取り組んでいく。 新たな生活様式の中で、正確な情報、新しい情報を提供できるよう図書館の意義を考えていく必要がある。
	割合	39%	51%	9%	1%	0%	100%						
地域館	件数(件)	138	270	49	10	0	467	1.15	A	0.96	A		
	割合	30%	58%	10%	2%	0%	100%						
分館等	件数(件)	147	211	24	6	1	389	1.28	特A	1.27	特A		
	割合	38%	54%	6%	2%	0%	100%						

IV 報告事項

1 新型コロナウイルス感染症対応について

(1) 趣旨

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館を始めとした対応を行った。

(2) 経過

※塗りつぶしは、国や自治体などによる対応等

時期	項目	館名	内容
R2.3.1	イベント	全館	・3月1日以降、行事中止
R2.3.18	情報提供	ホームページ	・ホームページに新型コロナウイルス感染症のリンク集を掲載
R2.3.30	発表		※県内感染者1例目確認
R2.4.3~11	施設管理	全館	座席間引き等を徐々に実施
R2.4.13	休校		※市内小中学校 4月13日(月)~5月31日(日)休校
R2.4.14	休館		※ガラス美術館・ミュージアムショップ休館
R2.4.15	休館	こども	・子育て支援センター、こども図書館休館
R2.4.16	休館	全館	・ 全館休館 (4月30日まで) ※ブックポストへの返却可能。Web等によるレファレンスは受付。
	発表(国)		※全都道府県に緊急事態宣言発令
R2.4.17	休館	全館	・休館日延長(5月7日まで)
R2.4.28	読書普及	ホームページ	・ホームページに「おうち図書館」(乳幼児・小学生対象のお薦め本リスト)を掲載。
R2.5.4	発表(国)		※国：緊急事態宣言延長(5月31日まで) ただし図書館は感染症対策を講じたうえで開館可能
R2.5.8	休館	全館	・休館日延長(5月17日まで)
R2.5.14	ガイドライン		※日本図書館協会： 「図書館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」策定
R2.5.18	再開	全館 (こども除く)	・ 貸出・返却に限定、閉館時刻を全館17時とし再開 。閲覧席使用禁止 (こども図書館は休館)
		全館	・飛沫防止アクリル板またはシート全館設置
		本館	・企画展示「感染症を知る」
R2.5.25	復旧	全館 (こども除く)	・新聞コーナー、インターネット席等の再開(座席間引きあり) ・閲覧席等を間引いて再設置
R2.6.1	再開	こども	・こども図書館再開
	復旧	全館	・閉館時刻は本館・八尾ほんの森・駅南は18時に延長。 こども図書館は17時。それ以外は通常通り ・対面レファレンス受付再開
R2.6.22	復旧	本館	・特別コレクション室を再開
R2.7.6	復旧	全館 (こども除く)	・閉館時刻は、こども図書館以外は通常通りに復旧
		本館	・インターネット席全席復旧
			・閲覧室、セミナールームの復旧
		婦中	・情報コーナーを再開。ベンチは間引き
本館・地域館	・学習室の席数を半減して復旧		
		本館・地域館	・ボランティアグループへの諸室提供再開(本館はセミナールーム提供)
R2.8.8	復旧	本館	・ イベント再開 。人数制限、事前申込制、距離・消毒等対策。
R2.8.11	発表(県)		※県：新型コロナウイルス感染拡大警報(富山アラート)発出
R2.9.19	発表(県)		※県：新型コロナウイルス感染拡大警報(富山アラート)解除
R2.10~	復旧	地域館	・イベント再開。人数制限、事前申込制、距離・消毒等対策。
R2.10.7	復旧	全館	・閲覧席、インターネット席全席復旧
		本館	・多目的ルーム半分を復旧
R2.11~	復旧	本館・地域館・東町分館	・ おはなし会再開

2 奥田北分館の移転開館について

(1) 趣旨

旧分館に隣接する公園内に奥田北地区センター・公民館・分館を改築移転した。図書館は正面玄関を入ってすぐの右手にあるため、利用しやすい位置にある。また東側の大きな窓によって室内が明るく、館内ではステンドグラスが楽しめる。

(2) 開館日

令和2年11月22日（日）

(3) 所在地

富山市下新北町2番11号（旧館と変更なし）



(4) 基本情報

- ①蔵書冊数 約14,000冊（うち新館用購入冊数 1,300冊予定）
- ②面積 新分館：136.16㎡ 旧分館：157㎡

3 図書館本館創立50周年及び新本館移転5周年事業について

(1) 趣旨

令和2年度は、昭和45年6月の本館創立から50周年を、また8月には新本館移転5周年を迎えたため記念行事を行った。

(2) 内容

①企画展示 「富山市立図書館本館50年の歩み」

- ア 内容：本館のこれまでの歩みを写真や資料で紹介し、創立50周年記念パンフレットを配布した。
- イ 令和2年6月4日（木）～6月28日（日）

②建築家・齋田武亨^{さい た たけゆき}さんとめぐる図書館バックヤードツアー

- ア 内容：ガラス美術館が行ったTOYAMAキラリ5周年記念事業の一環である無料開放デーに合わせ、TOYAMAキラリの設計に携わった建築家の齋田武亨さんの解説による図書館バックヤードツアーを開催した。
- イ 令和2年8月22日（土）10：30～11：30 14：00～15：00
- ウ 参加人数 31人（午前17人・午後14人）



③建築家・隈研吾さん特別講演会 ※主催はガラス美術館

ア 内容：TOYAMA キラリの設計を手掛けた建築家の隈研吾さんを招き、キラリを含めこれまで携わった建築物等について講演を行った。

イ 令和2年8月23日（日） 14：00～15：30

ウ 参加人数 100人

④ロバート キャンベルさん講演会

ア 内容：日本文学研究者で国文学研究資料館館長のロバート キャンベル氏を講師に招き、「日本古典と感染症」と題して講演会を開催した。国文学研究資料館の共催事業。

イ 令和2年10月2日（金） 18：00～19：00

ウ 参加人数 98人



⑤志水哲也写真展「黒部と剣」

ア 内容：写真家で山岳ガイドの志水哲也氏の写真パネル約70点の展示及び動画の放映を行った。

イ 令和2年10月21日（水）～11月10日（火）

ウ 参加人数 5,859人

⑥志水哲也さん講演会「富山の自然再発見」

ア 内容：富山の自然を撮影した時のエピソードや将来の富山県の自然のあるべき姿についての講演を行った。

イ 令和2年11月3日（火） 14：00～15：30

ウ 参加人数 101人



4 「バリアフリーブック」コーナー設置について

(1) 趣旨

これまで図書館では、視覚による障害を持つ方へのサービスとして、本を音声化した録音図書や大きな活字で読みやすく編集された大活字図書を貸出ししている。

平成 28 年に「障害者差別解消法」、令和元年 6 月には「読書バリアフリー法」が施行され、誰もが利用しやすい図書館になるよう求められている。

このことから、新たに児童向けのサービスとして、大活字図書と LL ブックを揃えた「バリアフリーブック」コーナーを設置した。今後も障害者等へ配慮した資料を積極的に導入し、サービスをより充実させていく。

(2) 目的

弱視や知的障害等により、通常の活字の本を読むことが難しい小中学生にも読書の楽しさを知ってもらうとともに、すべての人々が本と出合える環境づくりを目指すもの。

(3) 内容

①設置日

令和元年 11 月 7 日 (木)

②設置場所

図書館本館 3 階児童図書フロア

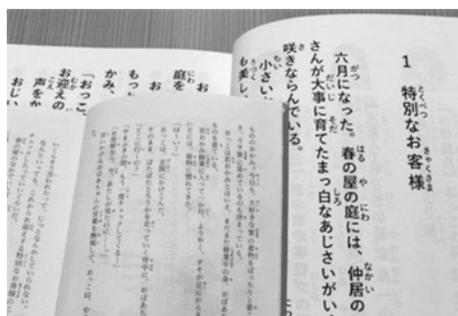
③配置資料

ア 児童向け大活字図書 220 冊

イ LL ブック 24 冊 (※)



※スウェーデン語の Lattlast の省略で、日本語では「やさしく読める」という意味を表す。知的障害やディスレクシア（失読症・識字障害）等により、一般の書籍を読むことが難しい人たちに向けて、読みやすく書かれた本のこと。写真や絵が多く、日常的によく使われる単語を用い、簡潔な文章で表現されている。



通常の本との文字の大きさの比較